



みつや



Vol.274

2022. 1



郷土を守り あなたのために尽くしたい 第13旅団





第13旅団長

陸将補

まつなが

松永

やすのり

康則

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

陸上自衛隊は創隊72年を迎えました。昭和から平成そして令和に至るこの72年間、我が第13旅団の歴史を振り返ると、昭和25年の警察予備隊創隊時に第3・第4管区隊として発足し、山口県において部隊として初の災害派遣であるルーヌ台風に対応しました。陸上自衛隊発足後の昭和37年に第13師団となり、山陰地方を襲った昭和38年の豪雪に伴う災害派遣に対応するとともに、中国地方における道路・グラウンド・敷地造成を数多く行い戦後復興の一端を担いました。昭和56年、中国地方への防衛体制強化のため、これまで担任していた四国に第2混成団を新編し第13師団は中国地方に専念することになりました。

冷戦終結以降は、陸上自衛隊初の国際平和協力活動である第1次カンボジア派遣に対応しました。また、安全保障環境の変化への対応の魁として、平成11年、陸上自衛隊初の旅団改編をした後、第23次ゴラン高原派遣輸送隊、第4次ハイチ国際緊急援助隊、シブチ派遣海賊対処行動支援隊警備隊といった国際活動に対応するとともに、近年激甚化する災害への対応として、平成26年広島土砂災害、平成30年島根地震、山口県・広島県・岡山県に同時対応した平成30年の西日本豪雨の任務を行ってきたところです。

現在の安全保障環境は厳しさを増しており、陸上自衛隊は、大改革を推進中です。これまで同様、時代の変化、特に科学技術の変化を見据えて「進化」し続けなければなりません。現代戦は統合運用を基本として陸海空に加えて宇宙・サイバー・電磁波といった領域で活動することが求められます。また、無人機やAI等の技術も急速に進んでいます。我々はこれらの動向を注視しながら日々「進化」することが重要だと考えております。

引き続き、我々第13旅団は、これまでの72年間の旅団の歴史を受け継ぎ、これからも旅団の理念「百万一心」の下、職務に邁進する所存です。

地域の皆様、第13旅団を応援して頂いている皆様におかれましては、令和4年も第13旅団は決意を新たに任務に邁進致しますのでどうか温かいご声援、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

「百万一心」



広島県防衛協会会長

いけだ こうじ

池田 晃治 氏

令和4年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

平素より、広島県防衛協会の活動にはご高配を賜っており厚くお礼申し上げます。

さて、わが国を取り巻く安全保障環境は、北朝鮮による度重なるミサイル発射や核開発、東シナ海や南シナ海などの海域における中国の軍事動向、そして台湾を巡る米中の対立など、不安定要因が先鋭化してきており、緊張が高まっています。

さらには、テクノロジーの進化により、宇宙空間における軍事的優位性の確保に向けた開発、情報通信ネットワークに対するサイバー攻撃といった新たな領域においても、軍事的脅威が顕在化しつつあります。

こうした情勢において、国際社会の平和と安定した秩序を実現するためには、近隣諸国間との相互理解と信頼関係をより強固なものとし、安全保障環境を整えていく取組みが重要になります。

加えて、国内においては、近年の気候変動も一因とされる自然災害が多発するなか、自衛隊による支援活動は、誠に頼もしく、国民からも大きな期待と信頼が寄せられているところでございます。

陸上自衛隊第13旅団におかれましては、中国五県の防衛・警備に加え、国際平和協力活動及び災害派遣等、多様な役割に迅速に対応することができるよう、日々研鑽を積み重ねられていることと存じます。

日頃より懸命に任務を遂行されている隊員の皆様に心から感謝申し上げます。

今後とも松永康則旅団長を中心に、活力あふれる精強な部隊として、厳正な規律の下、国家防衛という崇高な任務の遂行を通じて、地域住民、国民から広く愛される存在となられることをご期待申し上げます。

私ども防衛協会といたしましても、広島県隊友会並びに広島県自衛隊家族会など、自衛隊協力団体と連携し、自らの国は自らが守らなければならないという信念のもと、地域住民や企業に対し、自衛隊の重要性や、国土防衛に対する意識の高揚を図るため、鋭意努力する所存でございます。

結びに、厳しい環境下で各地における国際平和協力活動や国内での災害救助活動や訓練に邁進されております第13旅団の皆様にご敬意を表するとともに、今後ますますのご発展と、隊員並びにご家族の皆様のご多幸とご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



公益社団法人 隊友会
中国地区担当執行役
広島県隊友会会長

てらお けんじ
寺尾 憲治 氏

第十三旅団の隊員の皆様、ご家族の皆様そして協力団体の皆様、新年のお慶びを申し上げます。

二年に亘ったコロナ禍も、ようやく終息の兆しが見え始めたようです。ただ新たな変異株による感染の再拡大も否定できず、相変わらず自粛を促される年明けとなりましたが、隊員の皆さん、穏やかに正月を迎えられたでしょうか。

昨年一年間を振り返ってみると、まさにコロナ禍とオリンピック。記憶もまだ新しいかと思いますが、大会の開催やワクチン接種に対するネガティブ報道が世を席卷する中、アスリートの皆さんや大会スタッフの皆さんの汗と涙と、そして何よりも、賢明な国民の皆さんの支えがあって、大会は成功裡に終わりました。心配された大会後の感染爆発も抑えられ、改めて、国民の皆さんの賢明さに意を強くしたところです。

一方、我が国周辺では、尖閣諸島への領海侵犯や台湾への圧力など中国の力による現状変更の試みが後を絶たず、安全保障環境は一段と厳しさを増しています。加えて、自然災害への対応も予断を許さず、自ずと自衛隊に対する期待は高まるばかりです。このような状況の中、自衛隊が国民の負託に応えるためには、国民の皆さんの支持と信頼が不可欠であり、厳しい任務に当たる隊員の皆さんにとっても何よりの支えになると思います。

私たち隊友会は、自衛隊のOBが、陸・海・空を問わず、階級の別なく、等しく集う公益社団法人で、中国五県には約七千名もの会員がおります。

日頃から、第二の人生を過ごす地域ごとに集まって活動をしていますが、中でも、自衛隊の真摯を地域の方たちに伝えること、地域の防災活動等に協力すること、そして現職の皆さんの活動を側面から支援することを大切な役目として、今後も地道に活動を続けたいと思っております。

年頭にあたり、この一年が、皆様にとって実り多き年でありますよう心から祈念し、来年こそはコロナに触れなくて済むことを願い、ご挨拶といたします。



公益社団法人自衛隊家族会
中国地域協議会会長
広島県自衛隊家族会会長

ふくたに かおる

福谷 薫 氏

第十三旅団の隊員の皆様、明けましておめでとうございます。

穏やかに令和四年の新春を迎えられた事と思います。

昨年は、コロナ禍に始まりコロナ禍に終わった極めて異例な一年でした。コロナは、我が国はもとより全世界に甚大なる被害をもたらしました。多くの人命が失われると共に、深刻な経済の縮小・停滞が発生しました。このパンデミックを回避し、被害を最小限に抑える為、国を挙げてワクチン接種を始めとするあらゆる方策が実施され、私達の行動もかなりの制約を受ける事となりました。

こうした厳しい状況の中ではありませんでしたが、隊員皆様は、創意と工夫そして実行力を持ってこの難局に当たられ、「国の平和と独立」はもとより、災害派遣や海外での活動等にいささかの支障をもたらすことなく態勢を維持し任務を遂行されました。改めて隊員皆様に敬意を表する次第です。

「自衛隊家族会」は、「隊員に最も身近な存在である事に誇りを持ち、力を合わせて自衛隊を支える」とのスローガンの下、微力ではありますが家族支援や隊員激励等の活動に汗を流しています。こうした活動は、隊員皆様との直接の触れ合いが原点となっています。残念ながら、コロナ禍の影響により、一昨年から自衛隊の各種行事や部隊訪問等の機会も減少し、隊員皆様の元気な様子に接する事も少なくなりました。また、新入隊員激励会も中止の止むなきに至っています。誠に残念な限りです。昨年後半にはその猛威も多少弱まった感があるとは言え、新たな変異株の報道や第六波の予測も流れています。一刻も早い収束を願うところですが、今少し時間を要とすることになるのでしょうか。

令和四年の新春に当たり、中国五県の「自衛隊家族会」は、コロナとの長期戦を覚悟しつつ、「やれるところを、きっちりとやろう」との決意で本年の活動に当たります。隊員皆様は、「百万一心」のスローガンの下、厳しい環境ではありますが、国の「最後の砦」として弛まぬ努力を続けられる事でしょう。頑張ってください。

第十三旅団の隊員皆様にとりまして本年が更なる飛躍の年となりますように祈念申し上げますと共に、中国五県の「自衛隊家族会」に対しまして、変わらぬご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。新年のご挨拶と致します。



第13旅団最先任上級曹長

准陸尉

ぎおん

祇園

りゅうじ

龍司

皆様、明けましておめでとうございます。
輝かしい新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

最先任上級曹長に上番し、約1年が経とうとしており、この1年は、あっという間であり、かつ充実した日々でした。

昨年は、第13旅団として大きな事故もなく、部隊・隊員が無事、任務を完遂できたことをここに報告させていただきます。これも日頃の厳しい訓練や各隊員が使命感を持つことはもちろん、隊員を影で支えるご家族のご理解とご協力の賜物であると思っております。これからも部隊と留守家族が連携を密にして、隊員が安心して任務に邁進できますよう、一層のご理解・ご協力をお願いします。

また、我々准曹士においては、変革の加速、実力の進化を図っている最中であり、信頼の増進をさらに推進させるには、ここで、今一度意識して脇を締め直し、進化の礎となる足元を固める必要があります。国を守る最後の砦として日々心身を鍛え、物心両面の準備を整え、旅団長統率方針である「任務の完遂」「部隊・隊員の安全確保」に応えられるように本年も「百万一心」を合言葉に一丸となって互いに切磋琢磨していく所存です。

新型コロナウイルス感染症による影響は依然として厳しい状況ではありますが、どんな環境におかれても我々第13旅団の准曹士は更に団結し心を一つにして邁進することを誓います。

本年も旅団への更なるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに本年が皆様にとって幸多き年になりますことをご祈念申し上げ新年の挨拶とさせていただきます。

百万一心

謹賀新年



本年も地域とともに歩んでまいります
引き続き宜しくお願い申し上げます

令和4年元旦

〒683-0853

鳥取県朱子市西三柳2603

第8普通科連隊長 兼 朱子駐屯地司令



堀田 朗伸

謹賀新年

謹んで新年のご挨拶を申し上げます
旧年中は格列のご厚情を賜り誠に
ありがとうございました
本年も変わらぬご厚情のほどお願い
申し上げます

令和四年 元旦

山口県山口市上宇野令七八四

第十七普通科連隊長

兼ねて山口駐屯地司令

一等陸佐 山室 知由

〒753-0091



謹賀新年

昨年中は格列のご指導ご支援を賜り厚く
御礼申し上げます
本年も錬磨に励み皆様方のご期待に忘える
よう専心努力致します
皆様のご健康とご多幸を心からお祈り
申し上げます

令和四年 元旦

〒七三六-〇〇五三

広島県安芸郡海田町寿町二番一号

陸上自衛隊 海田市駐屯地

第四十六普通科連隊長

一等陸佐 貝 岐賢二

謹賀新年

旧年中は大変お世話になりました
私以下駐屯地の隊員一同皆様のご期待に
添えますよう日々精進してまいります
本年もどうぞよろしくお願い致します

〒七〇八一-三三二五

岡山県勝田郡奈義町滝本

第十三特科隊長

坂井 健一



明けましておめでとうございます
 皆様におかれましては、清々しい新年をお迎えのことお
 喜び申し上げます
 旧年中は、第一三後方支援隊に対し、格別のご厚情を賜り
 厚く御礼申し上げます
 孫団唯一の兵站・衛生支援部隊として、技を磨き、心を練
 り、隊員一同より一層励む所存です
 本年も変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願いし
 お願い致します

第一三後方支援隊
 一等陸佐 村中 克毅

謹賀新年

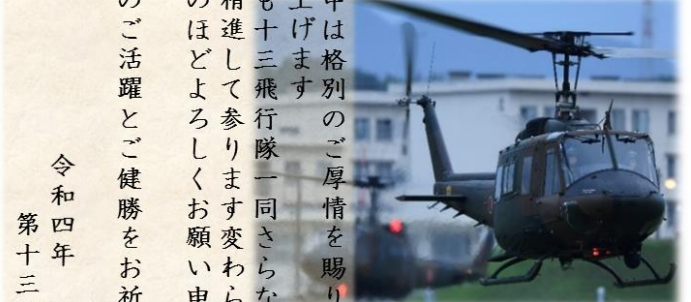
謹んで新年のお慶びを申し上げます
 旧年中は第十三偵察隊に対し格別の
 ご支援・ご厚情を賜り厚くお礼申し上
 げます
 本年も偵察隊一丸となりいかなる任
 務も完遂しうる偵察隊を目指し、更な
 る飛躍を求め精進する所存でありま
 すので引き続き変わらぬご指導ご鞭撻
 を賜りますようお願い申し上げます

令和四年元旦
 第十三偵察隊長
 二等陸佐 中津 政 文

謹賀新年



謹賀新年



昨年中は格別のご厚情を賜り心より御
 礼申し上げます
 本年も十三飛行隊一同さらなる努力を
 もって精進して参ります変わらぬご指導
 ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます
 皆様のご活躍とご健勝をお祈り申し上
 げます

令和四年 元旦
 第十三飛行隊長

第十三施設隊

明けましておめでとうございます
 旧年中は施設隊に対し
 並々ならぬご厚情を賜り
 誠にありがとうございます
 今年も施設隊は任務を
 必遂すべく隊務に邁進し
 てゆく所存でありますので、
 引き続きご支援、ご協力を
 賜りますようお願い申し
 上げます

第十三施設隊長
 二等陸佐 能見 高史





謹賀新年



昨年は、第十三通信隊に対し
 格別のご支援ご厚情を賜り
 厚くお礼申し上げます
 本年も通信隊一丸となって
 各種任務に取り組んでまいります
 皆様にとりまして最良の年と
 なりますよう心から
 お祈り申し上げますとともに
 本年も変わらぬ
 ご理解ご協力をよろしくお願
 い
 申し上げます
 令和四年 元旦
 第十三通信隊長
 二等陸佐 井上 明人

第13特殊武器防護隊

謹んで新年のお慶び申し上げます
 旧年中に皆様から賜りましたご支援ご協力に心から感謝申し上げます
 本年も旧年に引き続き「わ」を大切に隊員一同「没我支援」の精神で隊務運営に
 奮励努力してまいりますので変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます



謹賀新年



謹んで新年のお慶びを申し上げます
 旧年中皆様から賜りました御厚情に感謝
 を申し上げます
 昨年は旅団訓練検閲の受閲をはじめあら
 ゆる訓練の場等を活用し部隊の精強化に努
 めて参りました
 本年もいかなる任務をも完遂できる第十
 三戦車中隊となるよう精進する所存です
 ので引き続き変わらぬご支援ご協力を賜り
 ますようよろしくお願ひ致します



令和四年元旦
 第十三戦車中隊長
 宮城 裕一

第13高射特科中隊

謹賀新年

皆様のご健康と
 ご多幸を

お祈り申し上げます



令和四年 元旦
 第13高射特科中隊長
 大奥 誠也

謹賀新年

寅

新年あけましておめでとーございませす

昨年も コロナ禍の中で思ーような演奏活動は出来ませんでした。音楽隊として演奏以外にも求められる能力を発展向上させることが出来た一年でした。

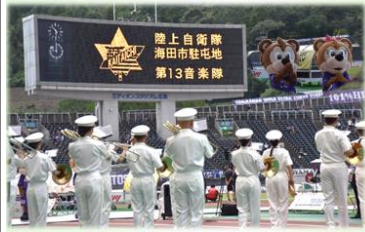
今年も 音楽隊創設六十年を迎える節目の年となります。今年こそ一回でも多く一人でも多くの皆様に感動を届けられるよう 地域の皆様に寄り添い愛される音楽隊を目指して これまで以上に精進して参ります。

本年もどうぞよろしくお願ひ致します

令和四年元旦

第十三音楽隊長

一等陸尉 石村 俊之



2022

謹賀新年

旧年中は第13旅団司令部付隊に対するご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。
本年も引き続き変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和四年 元旦



第13旅団司令部付隊長
3等陸佐 奥平 賢